

第1回県立野市総合公園再整備方針検討委員会 議事要旨

○委員の主な意見

1. 動物福祉に関する意見

- ・近年では世界的に動物福祉の考えが重要視されている。
- ・バックヤードの充実など、動物福祉に対応した環境の創出が不可欠である。

2. 飼育動物に関する意見

- ・世界の動物園との協力体制の構築が必要。
- ・高齢世代、繁殖世代、展示する世代の3世代を飼育できる環境があればより良い。
- ・満足度を高めるため、もう少し頭数があってもよいのではないか。その場合、バックヤードの十分な容量の確保が必要。

3. 展示施設や獣舎に関する意見

- ・検疫施設にも転用が可能なバックヤードを構えた方が良い。
- ・他県では、展示施設を改修する際にバックヤードを整備している。
- ・順次、バックヤードを活用して改修する施設の動物を入れ替えながら、展示施設や獣舎の改修を効率的に実施していく必要がある。
- ・方針を策定していく中で、動物園の職員の思いを吸い上げて行くことが大事である。

4. 多様な背景を持った来園者に関する意見

- ・多様な背景を持った方々が楽しめるような対応が必要である。
- ・パンフレットやホームページによる視覚情報以外にも音声情報等を充実していく必要があるのではないか。

5. 都市公園区域に関する意見

- ・都市公園区域の未整備エリアの縮小については、地元自治体とも連携して進めていく必要があると考える。